

平成28年度

## 緊急時登下校マニュアル（保存版）

### 1 風雨・雪等が強い場合

- (1) 登校 ① 天気予報等をもとに登校が危険だと判断した場合、朝、西風メール・連絡網でお知らせし、臨時休業、または登校を遅らせる等の措置をとります。前日から危険と判断できる場合には、前もってプリントでお知らせすることもあります。
- ② 連絡がない場合でも、保護者が登校させることが危険だと判断した場合、安全だと思われるまで自宅で待機させてください。この場合、遅刻・欠席の扱いにはなりません。
- (2) 下校 ① 天気予報で下校時に風雨等が強くなることが予想される場合、西風メール・連絡網にてお知らせした後、通常より早めに下校させます。連絡がつかない児童については、学校で待機させます。連絡がついた時点で、学校へのお迎えをお願いします。
- ② 下校時に風雨等が強くなり、下校させることが危険だと判断した場合、西風メール・連絡網にてお知らせし、安全だと判断できるまで学校で待機させます。風雨等が弱くなってきたところで職員が地区ごとに引率して下校させます。この場合、「引き取り人」の迎えがあれば、引き渡しをします。

※八千代市を含む地域に暴風警報が発令されている場合に対応することが多いです。

### 2 大地震で前庭等に避難した場合

- (1) 「八千代市」「千葉県北西部」で震度5強以上の場合
- ・ 児童を下校させても通学路や家庭での安全が確保できない可能性がありますので、全児童を学校で待機させます。西風メール・連絡網・ホームページを使用し連絡に努めますが、利用できないことも考えられます。「児童引き渡し票」に従って引き渡しをしますので、「引き取り人」が直接学校まで迎えに来て下さい。
- (2) 震度5弱以下の場合でも総合的に判断して危険と考えられる場合
- ・ 上記(1)と同様に対応します。
- (3) それ以外の場合
- ・ 地震で校庭等に避難した場合、余震が落ち着くまで、学校に待機させます。余震が落ち着いたところで、職員が地区ごとに引率して下校させますが、保護者が帰宅していない場合には、学校に戻し待機させます。また、「児童引き渡し票」に「保護の必要な状況」が記入されていた場合にはそれに従います。学校で待機した児童については、「引き取り人」が直接学校まで迎えに来て下さい。

### 3 感染症予防のための学級閉鎖

- (1) 下校を早める場合
- ・ 学級閉鎖の措置をとった場合、その日は給食後に下校させることがあります。その場合、西風メール・連絡網で早く帰ることをお知らせし下校させます。連絡がつかない児童については、学校で待機させ、通常の下校時刻に他学級・他学年と一緒に下校させます。
- (2) 通常に下校させる場合
- ・ 学級閉鎖についてのプリントを配布し下校させます。西風メール・連絡網では流しません。

### 4 その他

- ・ 「西風メール」または「電話連絡網」を状況に応じて併用します。メールを受信後、早帰りやお迎えの御都合がつかない場合は、必ず学校まで御一報ください。また、「電話連絡網」による連絡の際、電話がつかない場合には「連絡がつかない」と判断させていただきます。
- ・ 非常災害時、お子様を迎えに来られた場合は、学級担任が「児童引き渡し票」で確認した後、引き渡しを行います。所定の場所に、お集まり下さい。
- ・ 災害時の電話やメールは、非常につながりにくいと考えられます。緊急事態に備え、学校の電話回線は開けた状態にしておく必要があるため、学校への電話やメールを使った問い合わせは、お控え下さい。